



ガステーブル

R-3VF15-L

R-3VF15-R

取扱説明書

型式の呼び RTS-390NF-IL
RTS-390NF-IR

ご愛用のみなさまへ

このたびは、ガステーブルをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくお使いください。

この取扱説明書と別添の「保証書」の内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

幼いお子様にはさわらせないでください。

本製品は家庭用ですので業務用のような使いかたをすると著しく寿命が縮まります。

この機器は国内専用ですので海外で使用しないでください。

もくじ

各部のなまえ	1
別売部品のご紹介	1
安全上のご注意 (必ずお守りください)	2 ~ 7
機器の設置	8 ~ 10
使いかた	
点火・火力調節・消火のしかた	11
コンロ	12
グリル	13
使用中に消火したときは	14
お手入れのしかた	15・16
長期間使用しない場合	17
故障かな?と思ったら	17
アフターサービス	18
仕様	裏表紙



フッ素トッププレート付

図のように正しくセットしてください。

図はR-3VF15-Lで説明してあります。R-3VF15-Rはチャオバーナーと標準バーナーが左右逆になっています。

ごとく

ツメをトッププレートの穴に合わせ、がたつきがないように差し込みます。また、ごとくには「K」と刻印され、左右共通です

ツメ(裏面)

(2カ所)

しる受け皿

(チャオバーナー用)

バーナーキャップ

(チャオバーナー用)

バーナー本体

(チャオバーナー用)

チャオバーナー用 器具栓つまみ

品名表示位置

電池交換サイン

(乾電池の寿命をお知らせします)

電池ケース

単1形アルカリ乾電池 (付属品×2個)

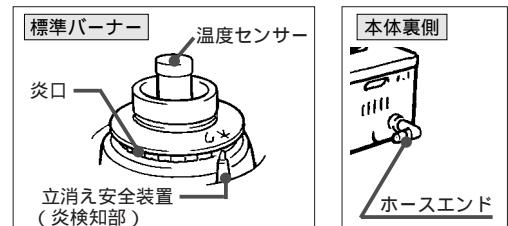
(+側を手前にして乾電池をセットしてください。)

グリル水切れセンサー

グリル水入れ皿を取りはずすと、左奥にあります。

グリルとびら

グリルとびら取っ手



グリル排気口カバー

グリル使用中は必ずはずしてください
しる受け皿

標準バーナー用 (「M」刻印表示)

グリル排気口

温度センサー

バーナーキャップ

(標準バーナー用)

バーナー本体

(標準バーナー用)

トッププレート

ご注意ラベル

使用上の注意事項が表示してあります。ご使用前に必ずお読みください

銘板

掲げもの用表示ラベル

調理油過熱防止機能がついているバーナー(標準バーナー)側に表示しています。

グリル用器具栓つまみ

標準バーナー用
器具栓つまみ

別売部品のご紹介

防熱板 (取り付け方の詳細はP8を参照)

- 設置場所で、可燃性の壁(ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm、上部はトッププレート上面より100cm以上離して設置できない場合、図のように取り付けて使用してください。

(後壁用防熱板)

RB-60B

幅600×高さ550×
厚み19mm

(天井用防熱板)

RB-15T

幅150×奥行550×
厚み10.5mm

(天井用防熱板)

RB-60T

幅600×奥行550×
厚み10.5mm

(流し台・調理台用防熱板)

RB-50S

幅40×高さ150×奥行500×
厚み19mm

側面専用防熱板

RB-160A

機器と壁のすきまがない場合、この防熱板を機器本体に取り付けて使用できます。

(側壁用防熱板) RB-55S

幅550×高さ550×厚み19mm

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な警告
注意

必ず行う



火気厳禁



接触禁止



一般的な禁止

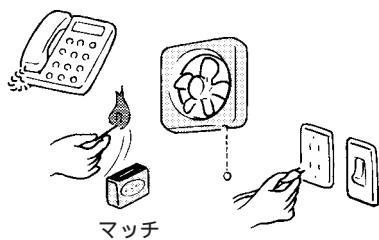


分解禁止

⚠ 危険

ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの入・切、電源プラグの抜き差し、周辺の電話を使用しない

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



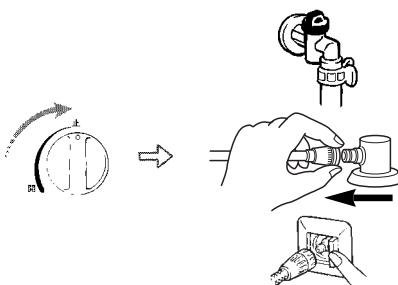
火気厳禁

マッチ

ガス漏れに気づいたらすぐに使用を中止する

すぐに使用を中止しガス栓を閉める。
(ガス栓つまみのないガスコンセント接続の場合は、ガスコンセントからソケットをはずす)
窓や戸を開けガスを外へ出す。

もよりのガス事業者(東邦ガス)に連絡する。



使用禁止

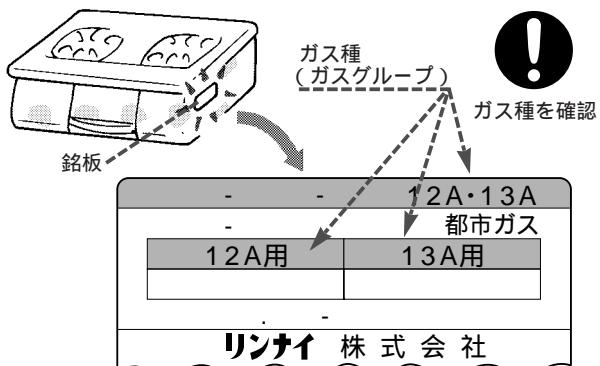
消火(止の位置) ガス栓を閉める(ガスコンセントからソケットをはずす)

⚠ 警告

供給ガスと銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)が合っていることを確認する

供給ガスと一致していない場合、そのまま使用すると不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをすることがあります。供給ガスがわからない場合はお買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガスに問い合わせてください。

転居されたときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。



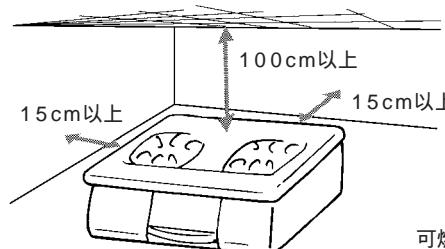
⚠ 警告

設置するときは可燃物との距離を確実に離す

距離が近いと火災の原因になります。(火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。)

可燃物との距離が守れない場合は必ず防熱板を取り付けてください。(P8参照)

また表面がステンレス板やタイルの場合でも内部が可燃性の場合は必ず防熱板を取り付けてください。



可燃物との距離を確実にとる

(可燃性の壁の場合)

設置後機器の周囲を改装する場合も可燃物との距離を確実に離す

機器の下に新聞紙やビニールシートなど可燃物を敷かない また周辺に可燃物を置いたり可燃性のガスを近くで使用しない、置かない



引火して火災・爆発を起こすことがあります。カーテンなど燃えやすいものを近づけたり、ふきん、スプレー缶、ベンジンなどを近くに置かないでください。



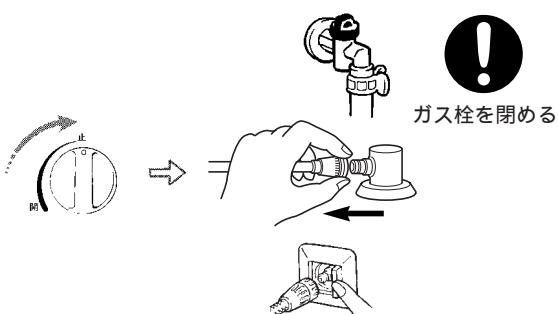
火をつけたまま、その場を離れたり、就寝、外出をしない

調理中のものが異常過熱し火災の原因となります。とくに揚げものの調理をしているときやグリルを使用しているときはその場を離れないでください。離れるときは必ず消火してください。



地震、火災、または使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する

あわてずに消火しガス栓を閉める。(ガス栓つまりのないガスコンセント接続の場合は、ガスコンセントからソケットをはずす)「故障かな?と思ったら」(P17)を参照ください。



消火(止の位置)

ガス栓を閉める(ガスコンセントからソケットをはずす)

内径9.5mmのガス用ゴム管(ソフトコード)以外は使わない ひび割れたゴム管、古いゴム管は使わない

ガス漏れの原因となります。ゴム管はJISまたは検査合格マークの入ったものを使用してください。ビニール管は絶対に使わないでください。ときどき点検して古くなった場合は取り替えてください。



ゴム管はホースエンドおよびガス栓の赤線まで確実に差し込みゴム管止めで止める

ゴム管が抜け、赤線
ガス中毒やガス
爆発の原因にな
ります。
ホースエンド ゴム管 ゴム管止め



ガスコードで接続する場合は、器具用スリムプラグを使用する

「ガスコードなどでコンセント接続する場合」(P9)を参照してください。

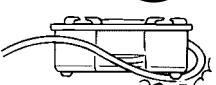
間違った接続はガス漏れの原因になります。



確認

ゴム管は機器に触れたり、下を通したり、グリル排気口や炎に近づけない また他の機器で加熱されるような所も通さない

使用時は周囲が
温になりゴム管
がとけてガス漏
れを起こすこと
があります。



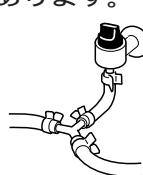
ガスコードの長さが合
わない為に高温部に触
れたり、機器の下を通
したり、機器に触れた
りする場合はガスコー
ドを使用しない

ガスコードが過熱
され、ガス漏れの
原因になります。



ゴム管の継ぎたし、二又分岐はしない

ガス漏れや使用誤
りなどで危険な場
合があります。



⚠ 警告

グリル排気口をふさがない

グリル排気口の上をなべ・アルミはく・ふきんなどでふさぐと異常過熱し、不完全燃焼や火災の原因になります。またグリル使用時は、必ずグリル排気口カバーを取り外してください。



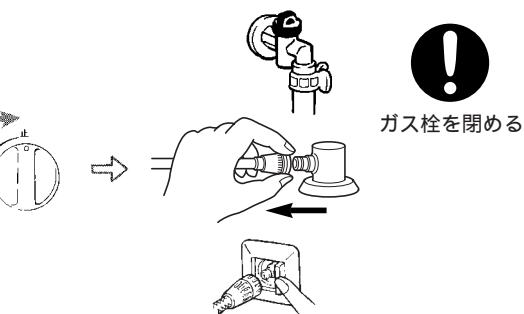
グリル水入れ皿に必ず水(約200ml)を入れ、連続使用の場合などは、たまつた脂は取り除き、そのつど水を入れる

水がない場合、魚やたまつた脂が過熱されて発火し、グリル排気口より炎が出ることがあります。続けて使用する場合も、そのつど脂を取り除き水を入れてください。なお水以外のものは入れないでください。



指定以外の補助具や大きすぎるなべなどは使わない

コンロをおおうような鉄板や直径34cm以上のなべ、焼き網、たこ焼き器、アルミはく製しる受け皿、ごとかわりに用いる、いわゆる省エネごとくなどを使うと異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因となったり、機器の焼損や破損の原因となります。また、温度センサーが正しく作動せず発火や消火の原因にもなります。指定以外の補助具を使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。



ガス栓を閉める
消火(止の位置)
ガス栓を閉める(ガスコンセントからソケットをはずす)

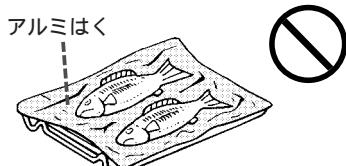
お手入れが必要なところ以外は絶対に分解したり修理・改造は行わない
ガス漏れや故障の原因になります。



⚠ 注意

グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない

アルミはくの上に脂がたまり発火する原因になります。



魚の裏返しや取り出し時などは、グリルとびらガラスやグリルとびら上端に触れない

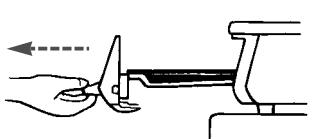
手や腕が触れる
とやけどをする
ことがあります。



接触禁止

グリル水入れ皿の出し入れはゆっくり確実に

水平にゆっくり出し入れしてください。
グリルとびらを持ち上げたまま引き出すと途中で止まらずに落下し、お湯がこぼれてやけどをすることがあります。



グリル水入れ皿の中に水のかわりに市販のグリル石・アルミはくなどを入れない

付着した脂が過熱され火災になる恐れがあります。



⚠ 注意

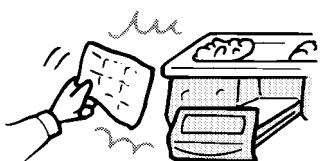
グリル排気口をのぞきこまない またなべの取っ手をグリル排気口に向けない

グリル使用時はグリル排気口から高温の排気がでます。やけどをしたり、取っ手をこがす原因になります。



グリル使用前にグリル庫内に食品くずやふきんなどがないことを確認する

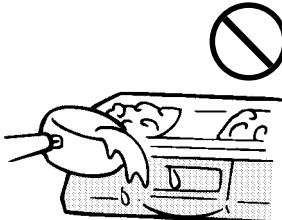
食品くずやふきんが燃えることがあります。



確認する

使用中、使用直後にグリルとびらガラスに水をかけない 衝撃を加えない傷をつけない

ガラスが割れてしまうことがあります。また、とびらが変形したり、閉まらなくなります。



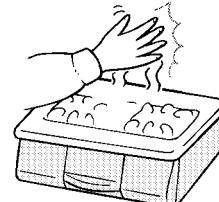
グリル水入れ皿だけを持って本体より取りはずさない

グリルとびらが落下し、やけどやけがをすることがあります。必ずグリルとびら取っ手を持って取りはずしてください。



コンロ・グリル使用中はバーナー付近や排気口に体の一部や衣服を近づけない

炎が衣服に燃え移ったり、排気熱によりやけどの原因になります。



グリルとびらに重いものをのせたり、強い力を加えない

グリルとびらがはずれ、けがの原因になります。



使用中、使用直後は器具栓つまみ、グリルとびら取っ手以外は触れない

やけどをすることがあります。とくに幼いお子様がいるご家庭はご注意ください。



接触禁止

棚の下など落下物の危険のある所に機器を設置しない

機器の上に落ちた物が燃え火災の原因になります。



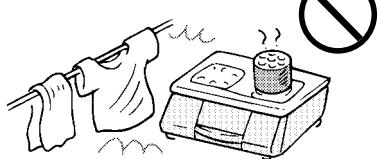
不安定な場所に設置しない

機器が傾いてなべなどがすべり落ち、やけどやけがをする原因になります。



衣類の乾燥や練炭の火起こしなど調理以外の用途に使用しない

火災や異常過熱し機器焼損の原因になります。



強い風の吹込む場所に機器を設置しない

機器内部の焼損や安全装置が正しく作動しないなどの原因になります。

また点火不良の原因にもなります。



ごとくをはずしてなべなどを直接コンロに置いて使用しない

不完全燃焼や機器焼損の原因になります。



車両・船舶では使用しない

使用中に機器が傾いたりして、火災ややけどをする原因になります。



⚠ 注意

点火するときはバーナー付近に顔などを近づけない また、この機器の点火装置以外の方法で点火しない
炎や熱でやけどをする原因になります。



バーナーキャップを水洗いしたときは水気をじゅうぶん切ってからセットする
炎口が詰まつたまま使用すると異常燃焼の原因になります。



使用中は換気をする

一酸化炭素中毒の原因になります。
ただし、自然排気式給湯器およびふろ釜を使用している場合は、換気扇を回さないで窓をあけて、換気をしてください。換気扇を回すと排気ガスが逆流することがあります。



やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する
火力が強いとやかん、なべなどの取っ手が焼損したり、手に触れるとやけどをする原因になります。



機器のお手入れは手袋などをして行う手袋などをしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをする場合があります。



必ず手袋をしてお手入れする

幼いお子様に触れさせない、使わせない
やけどやけがをする恐れがあります。



しる受け皿はバーナーキャップにのせたり、斜めにしてセットしない

バーナーの炎がしる受け皿の下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。



● 調理油過熱防止機能付バーナーについて(標準バーナーのみ)

調理油過熱防止機能とは天ぷら、フライなどの揚げものの調理で、消し忘れなどによる調理油の過熱を防止する機能です。温度センサーでなべ底の温度を監視し、調理油が発火する温度になる前に自動的にガスを止めます。このとき、ブザーが鳴ってお知らせします。揚げものの調理をされるときは、必ずこの機能についている標準バーナーを使用してください。

使用方法をお守りいただけなければ、調理油の過熱による発火を防止できないことがあります。

調理油過熱防止機能がついているバーナーは右図のようにトッププレートに および前面パネルに揚げもの用と表示してあります。

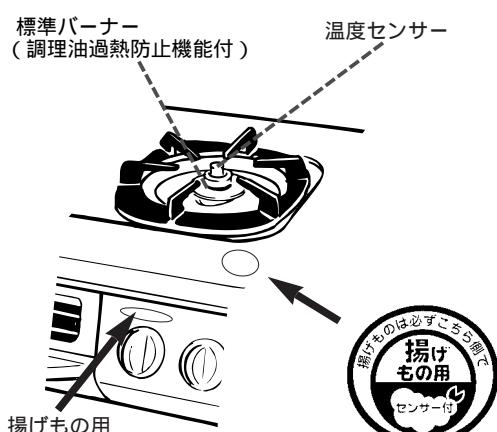
⚠ 注意

揚げものの調理をされるときは、必ず標準バーナー(調理油過熱防止機能付)を使用する

チャオバーナーを使用すると消し忘れなどにより調理油が発火することがあります。



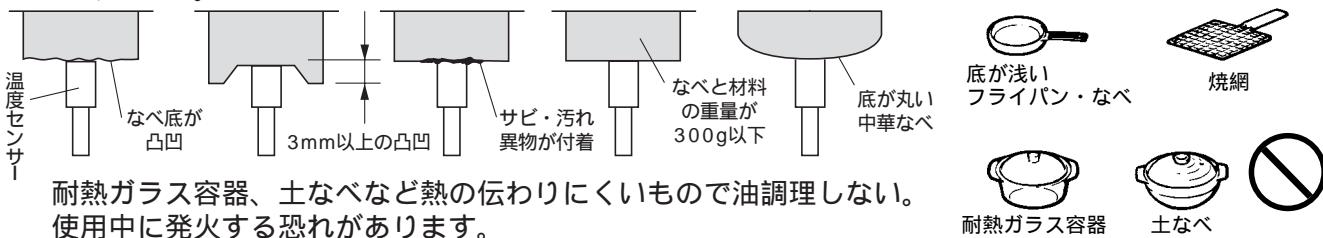
確認



⚠ 警告

標準バーナーでは下記のなべなどは使わない

温度センサーがなべ底の温度を正しく検知できずに、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
フライパンは底が浅く広いので、油の温度が上がりやすく発火の原因になります。その場を離れないでください。

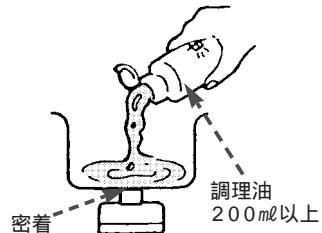


耐熱ガラス容器、土なべなど熱の伝わりにくいもので油調理しない。
使用中に発火する恐れがあります。



標準バーナー(調理油過熱防止機能付)で使用する調理油の量は200ml以上で行う

調理油の量がはじめから少なかつたり、減ってきたりすると発火することがあります。

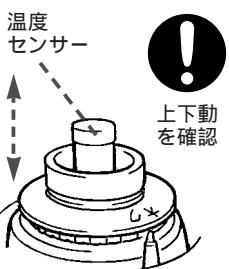


調理油の量
200ml以上

⚠ 注意

温度センサーのお手入れはこまめに行う また上下にスムーズに動くことを確認する

なべ底に密着しなくなり調理油が発火する場合があります。また、動きが悪いとなべなどが傾き、お湯などがこぼれやけどをする原因になります。なべの重さは調理物を含め300g以上必要です。密着しない場合、点検・修理を依頼してください。



温度センサーに強いショックを加えたりキズをつけない

なべ底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。



標準バーナー(調理油過熱防止機能付)では、中華なべ補助ごとく(別売)を使用しない

なべ底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。

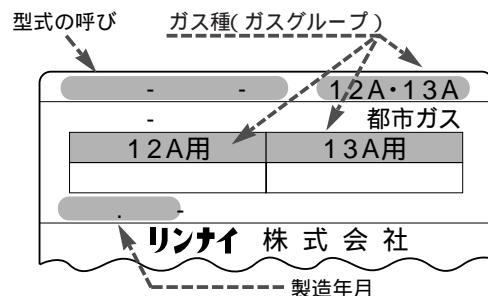


お願い

- コンロバーナーの上で魚焼き・鉄板焼きなどをすると、トッププレートやしる受け皿の色が変わることがあります。またトッププレートのフッ素コートがはがれたりしますのでください。
- なべの種類によっては、傾いたり、すべりやすいものがあります。不安定な状態で使わないでください。中華なべなど底の丸いなべは、必ず取っ手を持ちながら調理してください。
- 煮こぼれをさせると機器を早くいためますので、煮こぼれをさせた場合は機器がさめてからできる限り早くふきとってください。
- みそ汁を温めなおすときは火力を弱めにして、よくかき混ぜながら温めてください。
強火で急に温めなおすとなべ底に沈んだみそが突然噴き上がり、みそ汁が飛びちったり、なべがはねあがってひっくりかえることがあります。
- 特に、だし入り豆みそ(赤みそなど)に注意してください。

○ 設置前の準備と確認

型式の呼び・ガス種・製造年月は、機器右側面の銘板に表示してあります。
銘板のガス種(ガスグループ)と供給ガスが合っているか確認します。
輸送のため各部分にあて紙や包装部材がありますので全部取り除いてください。

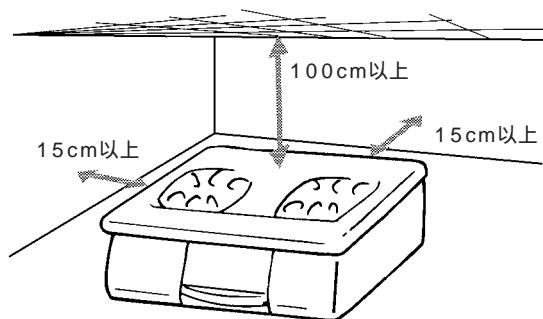


○ 設置場所および周囲の防火措置

設置場所

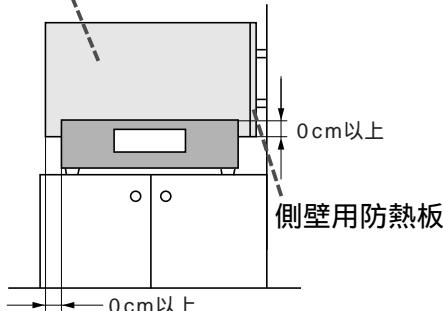
強い風の吹込まない場所・丈夫で水平な場所
付近にカーテンなど燃えやすいものがない場所
機器の上に湯沸し器のない場所
機器を使用した場合ガス栓が加熱されない場所
落下物の危険のない場所
機器の上に樹脂製の照明器具のない場所

周囲に可燃物(木製の壁・モルタル、タイル、ステンレスなどを張付けた壁・たななど)のある場合
・トッププレートより上の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離す。
・上記の距離がたもてない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けて設置する。

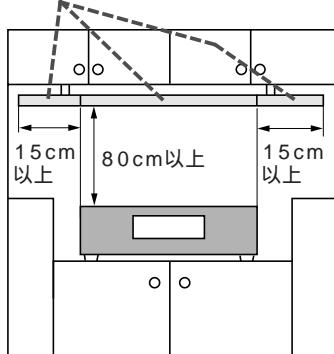


防熱板について

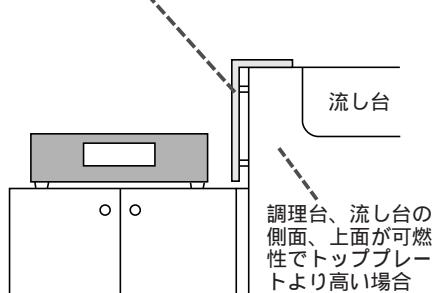
後壁用防熱板



天井用防熱板



流し台・調理台用防熱板



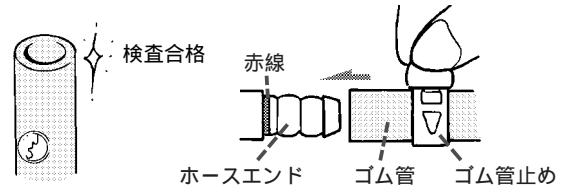
お願い

- ・防熱板(別売)の部品コードは「別売部品のご紹介」(P 1)を参照してください。
- ・防熱板についてはお買い上げの販売店またはもよりの東邦ガスにお問い合わせください。
- ・別売の指定の防熱板を必ずご使用ください。

○ゴム管(ソフトコード)の接続

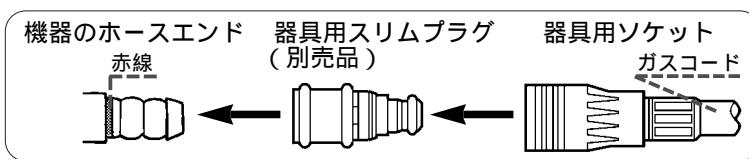
ガス用ゴム管 ソフトコード（内径9.5mm、JISマーク入り）を用い、折れたり、ねじれたりしないようにしてガス栓と機器のホースエンドとを接続します。（2m以下で適当にゆとりをもたせる）このときゴム管は赤線までしっかりと差し込み、ゴム管止めで固定してください。また機器に触れないようにして接続します。

ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を閉める。



○ガスコードなどでコンセント接続する場合

ガス機器側の接続 機器のホースエンドをコンセント化してガスコードでコンセント接続する場合



左図のように、まず別売の器具用スリムプラグを梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明書に従って機器のホースエンドに取り付け、次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに“カチッ”と音がするまで押し込みます。

ガス栓側の接続 (ガス栓がガステーブル用であることを確認してください。)

ガス栓を開けるとき
コンセント継手を
“カチッ”と音がする
まで確実に差し込む



コンセント継手を差し込むとガス栓が開きます。

ガス栓を閉めるとき
コンセント継手のす
べりリング(白色)
を手前に引く



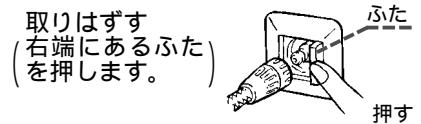
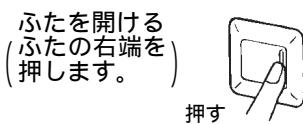
コンセント継手がはずれるとガス栓が閉まります。

お願い

- ガスコードを接続する場合は、ガス栓側がカチットプラグになっていないと接続できません。
従来のガス栓でご使用する場合は、別売のホースガス栓用プラグが必要です。

ガスコンセントについて

「ガスコンセント」は、ガスコードなどを取り付けると自動的に開栓し、取りはずすと自動的に閉栓します。

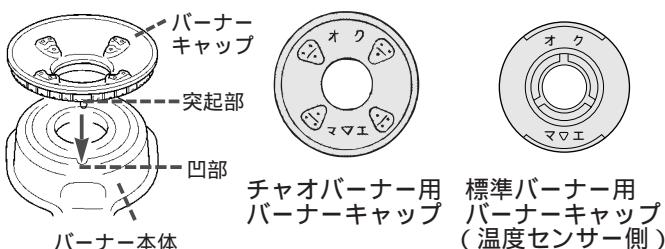


部品の取り付け

バーナーキャップ

「マ エ」刻印を手前にしてバーナーキャップの突起部をバーナー本体の凹部に正しくはめ込み、必ず正常に燃焼していることを確認してください。

バーナーキャップが浮いたり傾いたりしていると点火不良や炎が不ぞろいになったり異常燃焼などが起こる場合もあります。

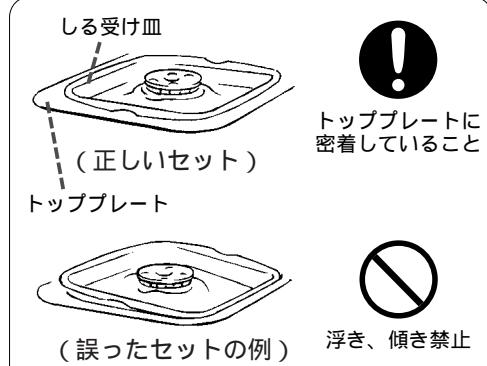
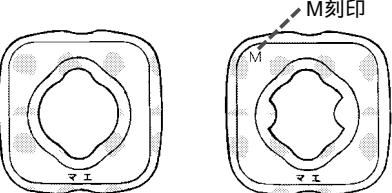


お願い バーナーキャップは消耗品です。薄くなったり変形して炎が不ぞろいになった場合は交換が必要です。お買い上げの販売店またはもよりの東邦ガスへご相談ください。

しる受け皿

- ・チャオバーナー用と標準バーナー用(M刻印表示)の2種類ありますのでまちがえないよう取り付けてください。
- ・「マエ」の刻印を必ず手前にしてセットしてください。

チャオバーナー用 標準バーナー用



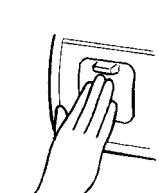
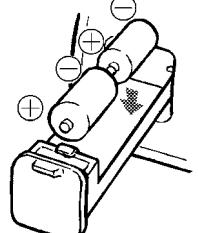
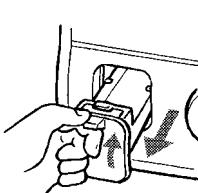
単1形アルカリ乾電池2個(付属品)

乾電池のセットのしかた

電池ケースのツメをつまんで手前に引く

乾電池の+側を手前にして乾電池を入れる

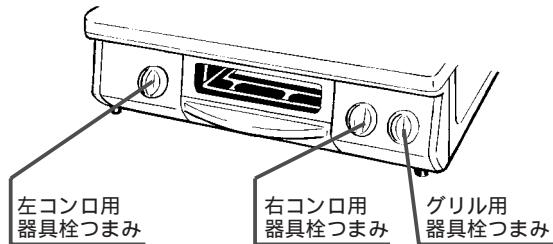
電池ケースを奥までしっかり押し込む



お願い

- ・電池ケースは途中で止まり、取りはずせない構造になっています。無理に引っ張らないでください。
- ・電池ケースに水などの異物が入った場合、電池の接触不良の原因になりますので、ふきとっつきにしてください。
- ・乾電池は必ず2個とも同種類の新品の単1形アルカリ乾電池をご使用ください。(マンガン乾電池の場合は寿命が短くなります。)
- ・乾電池の交換の目安は乾電池の種類によっても異なりますが約1年を目安としてください。
- ・付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。

点火・火力調節・消火のしかた



使用するバーナーの器具栓つまみを間違えないでください。

△△と表示してあるのがチャオバーナー用の器具栓つまみです。

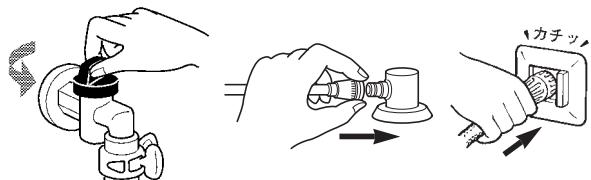
□□と表示してあるのが標準バーナー用の器具栓つまみです。

▽▽と表示してあるのがグリル用の器具栓つまみです。

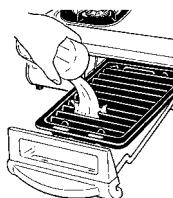
必ず表示を確認してから点火してください。

1 準 備

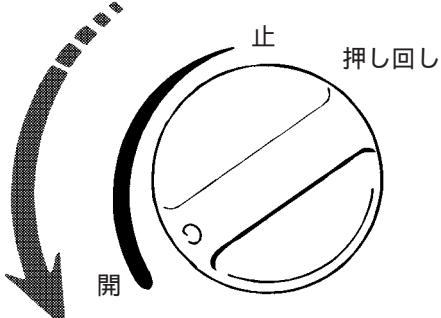
ガス栓を開きます。
(ガスコンセントにソケットを差し込みます)



(グリルを使う場合のみ) グリル水入れ皿に必ず水(約200ml)を入れ、グリル排気口カバーを取りはずして使用してください。



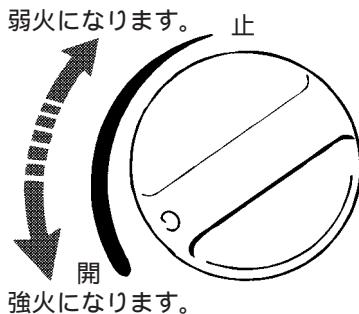
2 点 火



器具栓つまみを押しながらゆっくり左へ「カチン」と音がするまで回し、バーナーに点火したことを確かめてから立て消え安全装置が働くまでそのまま2~3秒押し続ける。

- お願い
- ・グリルはコンロバーナーに比べ点火に多少時間がかかります。
- ・万一、点火しないときは器具栓つまみを一旦消火の状態に戻し、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をしてください。

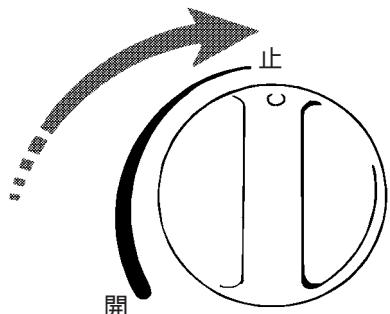
3 火 力 調 節



器具栓つまみを回し火力調節する。

- お願い
- チャオバーナーを弱火にした時、バーナーキャップの中央に近い丸穴から出ている火が消えることがあります、異常ではありません。

4 消 火



器具栓つまみを「止」の位置まで確実に回し、消火したことを確認する。

- お願い
- 幼いお子様のいたずらによる火災防止やガス漏れ防止のため、機器から離れるときは念のためお部屋のガス栓を閉めてください。

コンロ

調理油過熱防止機能(標準バーナーのみ)

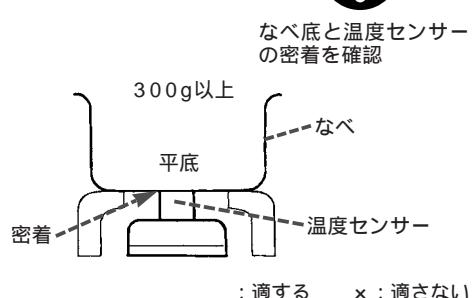
調理油の量

200ml以上で使用してください。少ないと発火することがあります。



なべの重さとのせかた

なべの重さは調理物の重さを含め300g以上必要です。できるだけ底が平らな金属製のなべを使い、なべ底の中心が温度センサー頭部に密着するよう、正しくセットしてください。また安定性の悪いなべは使用しないでください。



温度センサーに適したなべ

なべなどの種類	油料理 (揚げものなど)	その他料理 (煮物など)	備考
(鉄、アルミ製) なべ 天ぶらなべ フライパン 底の平らな中華なべ			調理油の量が200ml以下の場合発火することがあります。
(ステンレス、ホーロー製) なべ			
(ステンレス製) フライパン	×		調理油の量が200ml以上でも発火する場合があります。
底の丸い 中華なべ	底の凹凸した 打ち出しなべ	×	
耐熱ガラス容器	土なべ	×	油料理には適していません。発火する場合がありますので使用しないでください。
(アルミ、ステンレス製) 無水なべ 多層なべ			調理油の量が200ml以下の場合発火することがあります。また、無水料理において途中消火する場合がありますのでチャオバーナーをご使用ください。
圧力なべ			途中消火する場合はチャオバーナーをご使用ください。
焼網		×	消火したりトッププレートのフッ素コートがはがれたりしますので、グリルを使用してください。

このような調理には、チャオバーナーをお使いください

標準バーナー(調理油過熱防止機能)は、温度センサーがなべのから焼きのような高い温度になったときや冷たくなりすぎる場合、途中で消火することができますので、次のような調理にはチャオバーナーをお使いください。

・高温になりやすい調理

焼きもの：お好み焼き・ホイルのつつみ焼き・ポークソテーなど

炒めもの：ソーセージ炒めなど

炒りもの：ごま炒り・大豆炒り

・冷たくなりすぎる調理

冷凍食品：容器ごと凍らせたうどんやそばなどの解凍加熱

コンロ消し忘れタイマー(標準バーナー・チャオバーナー)

消し忘れを防止するために、点火してからの連続使用時間を判断して、チャオバーナーは約1時間、標準バーナーは約2時間たつと自動消火し、同時にブザーで「ピー」と鳴ってお知らせする機能です。



コンロ消し忘れタイマーが作動したら

すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にする。

13 / 使いかた

グリル

はじめて使用するときはから焼きが必要

工場出荷時の加工油を焼ききるためグリル水入れ皿に必ず水(約200ml)を入れて約10分、から焼きをしてください。この時、煙ができますが異常ではありません。



○ グリル水切れセンサー

グリル水入れ皿に水を入れずに使用した場合や、水の量が少なくなってきた場合に自動消火します。

グリル水切れセンサーが作動したら、すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にしてください。

再点火するときは、グリル水入れ皿に水を入れ、しばらく待ってから点火操作をしてください。

消火するとブザーが「ピー」と鳴ってお知らせします。

○ グリル消し忘れタイマー

消し忘れを防止するために、点火してからの連続使用時間を判断して、約21分たつと自動消火し、同時にブザーで「ピー」と鳴ってお知らせする機能です。



グリル消し忘れタイマーが作動したら

すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にしてください。

グリルを続けて使用するときは、そのつど脂を取り除き水を入れて再度点火操作をしてください。

お願い

調理物(魚など)の種類によっては、グリル消し忘れタイマーが作動する前に発火することがありますので、機器から離れないようにし、焼きすぎに注意してください。

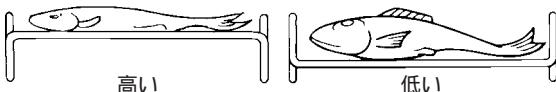
○ グリルお知らせブザー

グリル点火後、約3分ごとにブザーが「ピピッ」と鳴り、グリルを使用中であることをお知らせします。(調理時間の目安としてもお使いいただけます。)

○ グリルで上手に焼くには

グリル焼網の高低

裏表で焼網の高さが変えられます。焼き物の大きさ、種類により高低を選んでください。



予熱が必要

あらかじめ3~4分予熱しておくときれいに焼きあがります。つけ焼き・照り焼きなどのこげつきやすいもの、火の通りの悪い身の厚い魚などは、予熱せずに焼いてください。

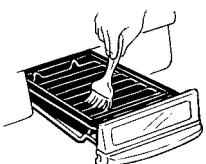
魚の尾やヒレは?

こげやすい魚の尾やヒレはアルミはくで包んだり、厚めに塩をふりかけたりします。



グリル焼網に油

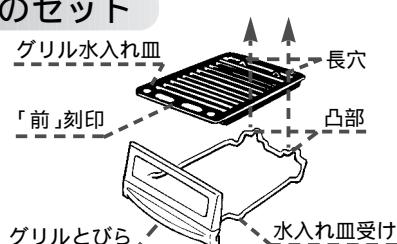
グリル焼網にサラダ油などを塗っておくと、焼き上がり後材料がグリル焼網に付着しにくく取り出しあやすくなります。



○ グリル水入れ皿のセットのしかたと出し入れ

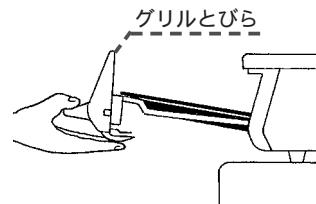
グリル水入れ皿のセット

水入れ皿受けの凸部をグリル水入れ皿の長穴に差し入れてセットします。



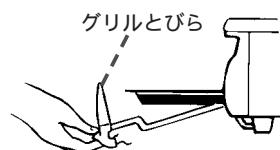
取り出すとき

グリル水入れ皿を取り出すときは、グリルとびらを止まるところまでいっぱいに引き出でから、そのまま持ち上げて取り出します。



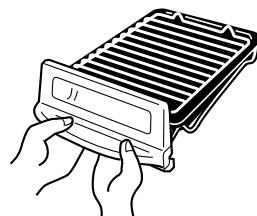
引き出すとき

グリルとびらを止まるところまでいっぱいに引き出でると、グリルとびらだけが下がり、焼き物の出し入れ・反転・確認が簡単に行えます。



持ち運ぶとき

グリルとびら取っ手を両手でしっかりと持ち、水平にゆっくり持ち運んでください。



使用中に消火したときは

調理油過熱防止機能が作動(標準バーナーのみ)

消し忘れなどによって起こる調理油の異常過熱時に自動消火します。

すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にする。

消火と同時にブザーが「ピー」と鳴ってお知らせします。

再度点火するときは

なべや油が相当熱くなっていますのでやけどに十分注意して、水を入れたなべや水に浸した布などで温度センサーを冷やしてから点火する。

グリル水切れセンサーが作動

グリル水入れ皿に水を入れずに使用した場合や、水の量が少なくなってきた場合に自動消火します。また、使用中にグリル水入れ皿を長時間引き出したままですると自動消火する場合があります。

すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にする。

消火するとブザーが「ピー」と鳴ってお知らせします。

再度点火するときは

グリル水入れ皿に水を入れ、しばらく待ってから再度点火する。

乾電池が消耗(コンロバーナー・グリル)

乾電池の容量が少なくなった場合、自動消火します。

すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にする。

乾電池を交換してください。(P10参照)

消し忘れタイマーが作動(コンロバーナー・グリル)

消し忘れを防止するために、点火してからの連続使用時間を判断して、一定時間以上になると自動消火します。

(標準バーナー約2時間・チャオバーナー約1時間・グリル約21分)

すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にする。

消火と同時にブザーが「ピー」と鳴ってお知らせします。

立消え安全装置が作動

煮こぼれなどで火が消えると、ガスを自動的に止めます。(ガスが止まるまで少し時間がかかります。)

すぐに器具栓つまみを回し消火の状態にする。

再度点火するときは

周囲にガスがなくなったことを確認して、立消え安全装置(炎検知部)の汚れをふきとつてから点火する。

お願い

- 立消え安全装置(炎検知部)に水滴や煮こぼれがつくと、点火にくくなったりします。水滴や煮こぼれはふきとつてください。
- 立消え安全装置(炎検知部)に硬いものをぶつけないでください。まがったり、変形し点火しにくくなったりします。



電池交換サイン

この機器はコンロバーナーやグリルの機能を制御するために乾電池を使用しています。

乾電池の交換時期をお知らせする電池交換ランプがついています。

ランプが点滅……新しい乾電池を用意してください。

ランプが点灯……コンロバーナー、グリルとも使用できなくなります。

器具栓つまみを回したとき点火しても、安全のため、手を離すと消火するようになりますので、電池交換ランプが点灯したら新しい乾電池と交換してください。

お願い

- 乾電池が正しくセットされていなかったり、乾電池の容量が全くなかったときは、点灯しません。



日常の点検

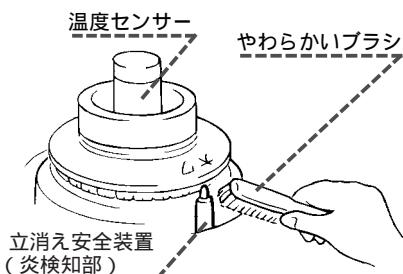
機器周辺に燃えやすいものが置いてありませんか。
バーナーキャップ、しる受け皿などは正しくセットされていますか。
グリル水入れ皿に脂がたまっていますか。
ゴム管の接続は確実ですか。
ゴム管は傷んでいませんか。
立消え安全装置(炎検知部)・温度センサーが汚れていませんか。
バーナーの炎口が煮汁などでつまっていますか。

お願い

- ・点検・お手入れの前には、必ずガス栓を閉めて機器が冷えてから行ってください。
- ・けがをしないように手袋などをはめて行ってください。また、各部分の突起物には注意し、強く当らないよう気を付けてください。けがをすることがあります。
- ・機器本体に水をかけたり、丸洗いしないでください。

立消え安全装置(炎検知部)・温度センサー

煮汁やゴミをやわらかい歯ブラシなどで落とす。
温度センサーをお手入れするときは、温度センサーに片手を添えて、かたくしほった布でふきとってください。
温度センサーは側面の汚れもふきとってください。



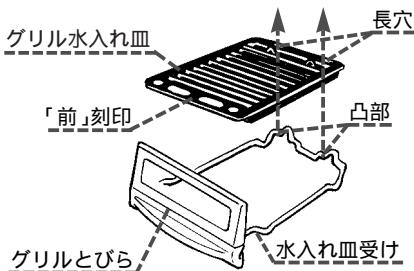
お願い

硬いブラシでお手入れをしたり、立消え安全装置(炎検知部)・温度センサーを傾けたりしないでください。点火不良や立消えの原因になります。

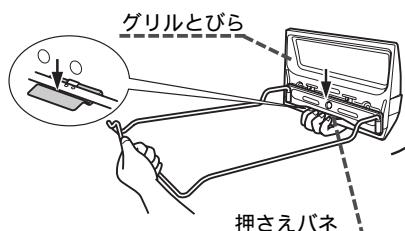
グリル水入れ皿・グリルとびら・グリル排気口カバー・グリル焼網

使用後そのつど台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)を含ませたスポンジたわしでお手入れをする。(取りはずしてお手入れができます。)

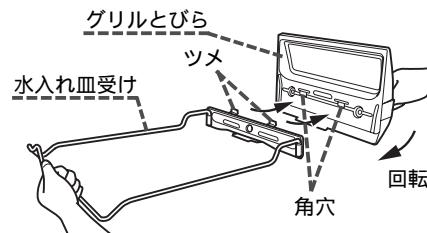
グリル水入れ皿の取り付け
水入れ皿受けの凸部をグリル水入れ皿の長穴に確実にいれる。



グリルとびらの取りはずしかた
1. 押さえバネを↓の方向に下げる。
2. グリルとびらを↗の方向にたおす。



グリルとびらの取り付けかた
1. 水入れ皿受けのツメ2カ所をグリルとびらの角穴にはめ込む。
2. ↗の方向にグリルとびらを回転させる。
押さえバネが水入れ皿受けに確実にはまっているか確認する。



お願い

- ・押さえバネには必要以上に力を加えないでください。変形してグリルとびらが正しく取り付けられなくなることがあります。

グリルとびらガラス

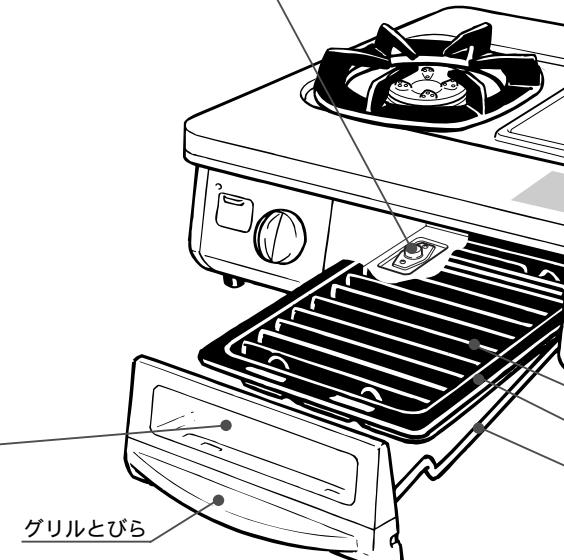
汚れたらそのつどやわらかい布でふき、お手入れをする。
汚れが落ちにくいときは、台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)で汚れた部分を湿らせておき、水を含んだ布でふきとる。

お願い

- ・ミガキ粉・硬いものでお手入れをすると、ガラスに傷がつき割れる原因になりますので使用しないでください。

グリル水切れセンサー

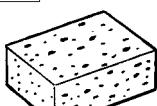
水切れセンサーの頭部についた脂やゴミは布に水を浸しかたくしほってふきとってください。
(グリル庫内左奥)



使ってよいもの



確認



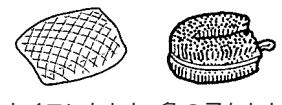
スポンジたわし



やわらかい布

台所用中性洗剤
(野菜・食器洗い用)

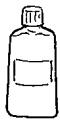
使ってはいけないもの



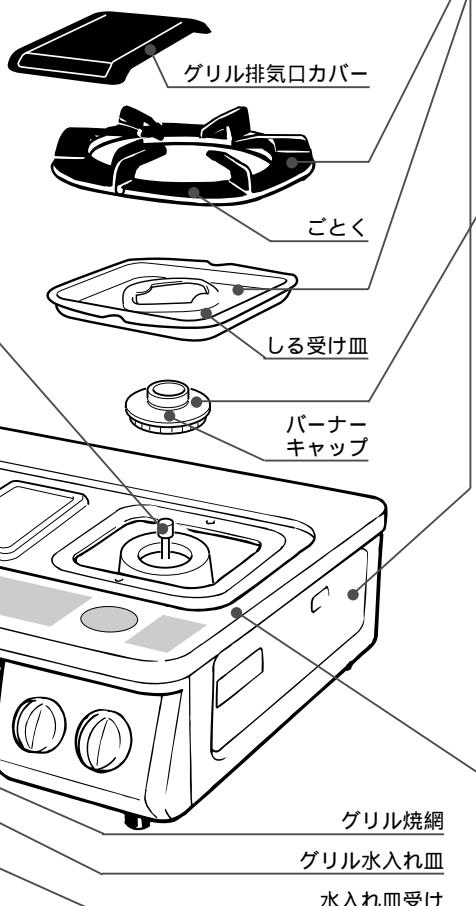
ナイロンたわし 亀の子たわし

金属
たわし

ミガキ粉

スプレー式
洗剤酸性、
アルカリ性洗剤シンナー
ベンジン

クレンザー



機器表面

台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)を含ませたスポンジたわし・やわらかい布でふき、お手入れ後は乾いた布で水気をふきとる。

お願い

- スプレー式洗剤は使用しないでください。機器前面などから内部へ洗剤が入りますと電子基板の誤作動や部品の腐食などにより機器が損傷する場合があります。
- 印刷・塗装表面にはミガキ粉・金属たわしなど硬いものは使わないでください。表面にキズがつきます。

ごとく・しる受け皿

- 使用後そのつど台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)を含ませたスポンジたわしでお手入れをする。

こげつきなどにより、特に汚れが落ちにくい場合

- スポンジやナイロンたわしにミガキ粉やクレンザー(研磨材入り洗剤)をつけてお手入れした後、洗剤をしっかり洗い流し、水気をふきとる。
- ナイロンたわし・ミガキ粉・クレンザーは基本的に使ってはいけないものです。もし、使う場合は下記の内容をお守りください。
 - クレンザーやミガキ粉には研磨材が配合されていますので、ごとく表面に多少のこすり傷がつくことがあります。また洗剤の液性はアルカリ性ですので、洗剤を十分に洗い流し、水気をふきとってください。洗剤が残っていると錆の発生の原因になります。
 - 硬いものでお手入れをすると、ごとく表面のホーローがかけたりしますので使用しないでください。

お願い

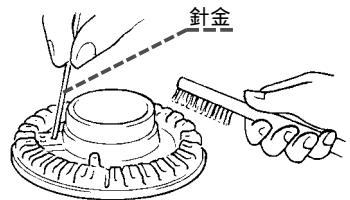
バーナーキャップ

目詰りしていたら、炎口をブラシや針金などで掃除をする。

お手入れ後は正しくセットし、正常に燃焼することを確認してください。

お願い

- バーナーキャップの表面(黒い部分)を台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)以外の洗剤でお手入れをすると黒い部分がはがれことがあります。万一はがれた場合でもそのままご使用いただきて問題ありません。
- 煮こぼれしたときは、必ずお手入れしてください。



トッププレート

汚れたらそのつどやわらかい布でふきお手入れをする。汚れたまま放置するとシミがのこる原因となります。

- 汚れが落ちにくいときは、台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)で汚れた部分を湿らせておき、水を含んだ布でふきとる。

お願い

- トッププレートを台所用中性洗剤(野菜・食器洗い用)以外の洗剤やみがき粉・硬いものでお手入れをすると、フッ素コートがはがれたりシミ・変色の原因となりますので使用しないでください。
- 長期間使用するとフッ素コートが変色することがありますか、効果には影響ありません。
- トッププレートには安全に関する注意ラベルが張り付けてあります。汚れたり読めなくなったときはやわらかい布などで汚れをふきとってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店またはもよりの当社で新しいラベルを再購入のうえ、張り替えてください。

お部屋のガス栓を必ず閉めてください。

乾電池を外しておく。

お手入れをしておくと、次回使用するときに便利です。

故障かな？と思ったら



使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する
あわてずガス栓を閉めてください。



ガス栓を閉める

調べてみると故障でない場合がよくあります。修理を依頼する前に、もう一度チェックしてください。

現象	原因	処置	参照ページ	
・点火しない ・点火しにくい ・点火してもすぐ消える	ガス栓の開き忘れ	お部屋のガス栓を全開にしてください。	P11	
	バーナーキャップの取り付け不良	浮き、傾きのないように正しくセットしてください。	P10	
	しる受け皿の取り付け不良	正しくセットしてください。	P10	
	アルミはく製しる受け皿を使用している	アルミはく製しる受け皿を使用しないでください。	P4	
	乾電池が入っていない、または正しくセットされていない	+、-を確認して正しくセットしてください。	P10	
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換してください。	P10・14	
	バーナーキャップの炎口部が水滴でふさがっている	炎口部の水滴をふきとってください。	P6	
	立消え安全装置(炎検知部)がぬれたり、汚れたりしている	立消え安全装置(炎検知部)のお手入れをしてください。	P15	
	ゴム管の中に空気が残っている	点火操作をくり返してください。 はじめての場合は点火するまでしばらく時間がかかります。	P18	
	バーナーキャップの炎口づまり	炎口を掃除してください。	P16	
・炎が安定しない ・異常音をたてて燃える ・爆発的に点火する ・なべにススが付着する ・使用中、炎が消える	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がり、つぶれを直してください。	P9	
	ガス栓のヒューズが作動	機器を接続しているガス栓がテーブルコンロ用であることを確認してください。	P9	
	バーナーキャップの取り付け不良	浮き、傾きのないように正しくセットしてください。	P10	
	バーナーキャップの炎口づまり	炎口を掃除してください。	P16	
	立消え安全装置(炎検知部)がぬれたり、汚れたりしている	立消え安全装置(炎検知部)のお手入れをしてください。	P15	
・ガスの臭いがする	ゴム管がひび割れたり、穴があいている	ガス栓を閉め、新しいゴム管と交換してください。	P3	
	ゴム管が確実に接続されていない	ゴム管を確実に接続してください。	P9	
標準バーナー(温度センサー付)使用中 ・調理中に自動消火する ・油温が高くなても自動消火しない ・点火してもすぐ消える	使用なべの形状、材質が適していない	「温度センサーに適したなべ」を参照してください。	P12	
	なべ底や温度センサーの頭部の汚れ	なべ底や温度センサーを掃除してください。	P15	
	なべ底が凹凸している	底が平らな金属製のなべにしてください。	P7・12	
	調理油過熱防止機能が作動	水をいれたなべや水に浸した布などで温度センサーを冷してください。	P14	
	乾電池が入っていない、または正しくセットされていない	+、-を確認して正しくセットしてください。	P10	
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換してください。	P10・14	
グリル使用中に消火する	グリル使用時、グリル水入れ皿に水が入っていない	グリル水入れ皿に水を入れ、しばらく待つてから点火してください。	P.14	
ブザー音	ピー×1回	消し忘れタイマーの作動(チャオバーナー約1時間・標準バーナー約2時間・グリル約21分)	続けて使用する場合は、再点火してください。	P12・13
	ピー×3回	コンロバーナー・グリル使用中、立消え安全装置が作動	周囲に生ガスがなくなるまでしばらく待ってから再点火してください。	P14
	ピー×3回	グリル水切れセンサーが作動	グリル水入れ皿に水を入れ、しばらく待つてから点火してください。	P14
	ピー×5回	調理油過熱防止機能作動(標準バーナー)	続けて使用する場合はやけどに注意して再点火してください。	P12・14
	ピー連続	温度センサーまたは電子ユニットの故障	点検修理を依頼してください。	-

なお、異常のあるときやおわかりにならないときには、お買い上げの販売店またはもよりの東邦ガスにご連絡ください。不完全な処理は事故のもとになります。

こんなときは異常ではありません。

点火しにくい	朝一番で使用するときやはじめて使用するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくことがあります。点火操作を繰り返してください。
点火・消火のとき、音がする	点火時・消火時に「ポン」という音がすることがありますが、これは点火音・消火音で異常ではありません。(消火時にはしばらくしてから音がする場合もあります。)
炎が赤い	グリル使用時にコンロを使用すると焼き物の塩分(ナトリウム)や水中に溶解しているカルシウムなどが燃焼して炎が赤くなることがありますが異常ではありません。また加湿器を使用している場合にも同様に水分中のカルシウムにより炎が赤くなることがあります。
使用中「シャー」という音がする	燃焼に必要な空気が通過する音で、異常ではありません。
点火後や消火後にキシミ音がする	加熱や冷却される際に、金属が膨張・収縮して起こる音です。
バーナー本体(ステンレス製)が変色する	炎の熱や煮こぼれにより、バーナー本体が変色することがあります。使用上問題ありません。
炎が均一でない	バーナーの炎は、立消え安全装置、ごとくの爪部分などで炎が短くなっていますが、異常ではありません。

はじめてグリルを使用しますとグリル内の加工油が焼けて煙がでますが異常ではありません。

グリル水入れ皿に必ず水(約200ml)を入れて約10分、から焼をしてください。

アフターサービス

修理を依頼されるときは	『故障かな?と思ったら』をもう一度ご覧になって確認してください。それでも不具合の場合や不明な場合は、ご自分で修理なさらずにお買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガスへご連絡ください。 アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。 (1)品名(R-3VF15-L, R-3VF15-R) P.1品名表示位置確認 (2)型式の呼び(銘板表示のもの : RTS-390NF-IL, RTS-390NF-IR) (3)故障または異常の内容(できるだけくわしく) (4)ご住所・お名前・電話番号・道順 (5)訪問ご希望日
保証について	当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに無料修理に応ずることをお約束します。 (詳細は保証書をご覧ください。) 保証書を紛失されると無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。
補修用性能部品の保有期間について	無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガスにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は有料修理いたします。補修用性能部品保有期間は、当製品の製造打ち切り後5年間となっています。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)
転居されるとき	ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類(ガスグループ)が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。この場合、保証期間内でも、調整・改造に要する費用は有料となります。
アフターサービスなどについてわからないとき	お買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガスにご連絡ください。 連絡先は別添のお問い合わせ先一覧表を参照してください。

品 名	R-3VF15-L	R-3VF15-R
型 式 の 呼 び	RTS-390NF-IL	RTS-390NF-IR
型 式 名	RTS-390N1	
種 類	ガステーブル	
点 火 方 式	圧電点火式	
外 形 尺 法	高さ211mm × 幅566mm × 奥行416mm(トッププレート前面からホースエンドまで)	
質 量 (本体)	9.5kg	
ガス接続	9.5mm ガス用ゴム管	
付 属 品	単1形アルカリ乾電池(2個)	

使用ガス 使用ガス グループ	1時間当たりのガス消費量				全点火時 ガス消費量
	チャオバーナー	標準バーナー	グリル	個別ガス消費量	
都市ガス 12 A	4.30kW	2.74kW	1.98kW	1.98kW	8.66kW
都市ガス 13 A	4.65kW	2.94kW	2.15kW	2.15kW	9.30kW

機器を廃棄するときのお願い

本機器は乾電池を使用していますので、大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

東邦ガス株式会社

名古屋市熱田区桜田町19番18号 〒456-8511
TEL.052-871-3511(大代表)



販売店名

製造者リンナイ株式会社

名古屋市中川区福住町2番26号 〒454-0802
☎ 052(361)8211(代)

390NF-32A(00)
DC-01 K